

アート・パトロネージ

「アート・パトロネージ」の必要性

フィロソフィ

普通なしあわせ

事業ミッション

アーティストのはたらき方の多様性と
生活基盤、プライドの構築

事業コンセプト

1. 安全で心穏やかに創作活動に打ち込める環境づくり
2. 現代アートとしての正当な評価
3. 現代アート市場、企業CSR、個人PSRの開拓
4. 厚生労働省、文部科学省、地方自治体への提言
5. 国公立大学などでの教育の概念を拡大、次世代の人材育成
.....

特徴・属性

- 社会福祉法人
- 芸術、デザイン、福祉、教育の四領域を横断的にプロデュース
- 国内外での展覧会やアート・フェアに出品しているアーティストが所属
- 国内の主要な現代美術館でグッズを展開
- 金沢美術工芸大学非常勤講師にアーティストが就任

実用的価値と感情的価値
を生むために必要なものは？

アート・
パトロネージ

アート・パトロネージとは後援者・支援者という意味である
「パトロン」が、アーティストの作品制作活動や展覧会
などの発表事業を精神的・財政的にサポートすること。

実用的価値

- <企業>CSRの新たな評価基準、障がい者雇用率の改善
- <個人>芸術領域の拡大
- <芸術・デザイン>展覧会観客、作品購買の新しい層の開拓
- <アーティスト>収入の確保
- <教育>新たな教育カリキュラム設定による学生の創出
- <行政>障がい者専門的就労システムの構築
.....

感情的価値

- <企業>文化活動としての社会的評価の向上
- <個人>アーティスト育成の喜び <芸術・デザイン>根源的な創造性の発見
- <アーティスト>プライドの構築 <教育>現代アートとしての認知

提供する

受け手

芸術・デザイン

学芸員
デザイナー

企業

文化度の
高い企業

アーティスト

知的障がい者

行政

厚生労働省
文部科学省

教育機関

国公立大学など